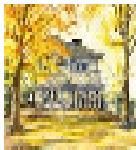


チャンス・チャレンジ・チェンジ



秋田県立養護学校天王みどり学園 加賀谷 勝

「就学支援シート」をレポート



○就学支援シートとは（作成の流れ：市町村教育委員会⇒保護者・園⇒教育委員会⇒小学校）

- ・就学後のスムーズな学校生活につなげるために、家庭や幼稚園・保育所（園）における様子や有効な指導内容・方法、保護者の要望を小学校に引き継ぐ資料の一つである。
- ・市町村によって、活用目的や名称、様式等が異なっている。

○就学支援シートを作成している市町村

- ・大館市、北秋田市、男鹿市、潟上市、大仙市、横手市、五城目町、八郎潟町、井川町などがあげられる。今年度、秋田県教育委員会のHPから様式例がダウンロードできるようになり、上記以外の市町村でも作成していると思われる。

○就学支援シート作成の成果と課題

【成果】

- ・食べ物やアレルギー等、細かいことを伝えられるので安心できる。（保護者）
- ・入学前の学校の対応や入学後における支援内容を考える参考資料となる。
- ・子どもの指導について、保護者と指導者側が共通理解できる。
- ・保護者の子どもへの思いや理解度・考え方を知ることができる。
- ・保護者との面談を進める際の手掛かりとなる。
- ・子どもの就学について保護者と確認できた。
- ・学級編制や担任配置、個別の指導計画の作成時の参考資料となる。
- ・作成対象児が全員だと、全ての子どもの情報が分かるのでありがたい。
- ・保育園と教育委員会の連絡がスムーズにできるようになった。



【課題】

- ・対象児が全員だと園の負担が大きい。（記入項目が多すぎる）
- ・記入欄が保護者と園が一緒になっているため、よいことしか書けない。
- ・就学時健診後に成長の変化がみられる幼児もいるため、記入時期は冬期間でもよい。
- ・就学支援シートは子ども理解の一つの手段であり、シート以外の方法（顔の見える引き継ぎ、交流会等）も併用して、実態把握や支援内容の共通理解を図る必要がある。



○作成から活用へ！

- ・数年前から実施している市町村は、これまでの成果や課題を整理して、様式や作成対象児も含めて見直す必要がある。（目的の確認と書く負担を減らす工夫を！）
- ・就学支援シートは、保護者が参画することで、わが子の成長を再確認し、入学への期待感を高めることが最大のメリットである。
- ・就学支援シートを小学校における個別の指導計画の作成の資料として活用する。
- ・就学支援シートを基に、保護者と園・小学校が面談をして子ども理解を深める。

就学支援シートには保護者の願いや園での有効な支援方法が記入されており、移行期支援に不可欠なツールである。県内全ての市町村で作成・活用されることを期待している。